

湿原の森林化は止められるか

5月29日に予定していた南平台登山が天候不良で6月4日(土)に延期になりましたが、当日は、川野理事長はじめ14名が猪の瀬戸林道～踊石経由で山頂をめざしました。

この登山の目的は猪の瀬戸湿原の全景を見ることが、昨年も同時期に登っています。

今年は、やや霞がかかった状態でしたが、右のような猪の瀬戸湿原を見渡すことができました。



2011年6月4日 南平台から撮影

下の写真は、昨年撮影したものです。比べてみると湿原西側の樹木が茂っていた部分が、野焼きに向けた準備作業で草地状態になっていることがわかります。野焼きをしなければ4・5年すると、下の写真ように森林が復活してきます。

猪の瀬戸湿原の面積は県道南側が約23ha、北側が約18haありますが、森林化を食い止め、広大な湿原景観を回復するためにどこから、どのように野焼きをしていくか、そのために輪地切り、輪地焼きをどの



ようにしておくか、来春の野焼きに向けた計画的な作業が必要になってきました

秋になったら、本格的な防火帯づくりを始めます。作業量が多くなりますので、活動日にはできるだけ多くの会員の参加をお願いします。

本会の目的のひとつでもありません猪の瀬戸湿原の再生に向けて、野焼きによる湿原の回復を成功させましょう。

2010年5月30日 南平台から撮影